

MAITERRI PROTECT IS EVOLVING

超速硬化
ウレタン
複合防水
シリーズ

シーカ・ジャパン株式会社
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-2-7赤坂Kタワー7階
TEL.03-6433-2101 FAX.03-6433-2102

【札幌オフィス】 TEL.011-804-8050
【仙台オフィス】 TEL.022-207-5010
【東京オフィス】 TEL.03-6432-9433
【横浜オフィス】 TEL.045-290-9751
【千葉オフィス】 TEL.043-380-7981
【さいたまオフィス】 TEL.03-6432-9782
【名古屋オフィス】 TEL.052-218-7541
【新潟オフィス】 TEL.025-365-3010
【金沢オフィス】 TEL.076-290-7408
【関西オフィス】 TEL.06-6292-0511
【広島オフィス】 TEL.082-532-2020
【福岡オフィス】 TEL.092-525-7788

超速硬化
ウレタン
複合防水
シリーズ

WATER- PROOFING is EVOLVING.

「デザイン」と「機能」。

両立が難しいとされた、これまでの防水。

薄い・剥がれない・傷つきにくい。

超速硬化ウレタン複合防水シリーズが、

建築の可能性を新たなステージへ。

防水が制約になるのではなく、防水で解き放つ。

次世代の建築とともに生み出そう。

MULTI-COMPONENT ULTRA FAST
CURING POLYURETHANE
WATERPROOFING MEMBRANE SYSTEMS

表紙:

長崎県庁舎
Nagasaki Prefecture Office

日建設計、松林建築設計事務所、池田設計
Nikken Sekkei Ltd.
Matsubayashi Architectural Design Office,
Ikeda Architects

防水種別: UPM-10・10C・10CF / V-UF
構造: RC造, 一部木造
規模: 地上8階
竣工: 2017年11月
所在: 長崎県長崎市

Type of waterproof: UPM-10, 10C, 10CF / V-UF
Structure: RC+W
Number of stories: 8 stories
Completion date: November, 2017
Location: Nagasaki-city, Nagasaki

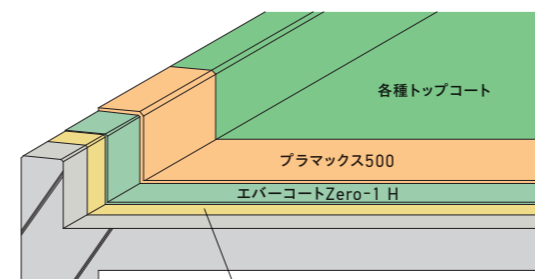
超速硬化 ウレタン 複合防水 工法

挑戦的なディテールと
さまざまな用途を可能にする
塗膜防水ならではの
使いやすさ。
防水機能に安心感を与える
シームレスな仕上り。
カラーリング、ウッドデッキ、
タイルや敷石など
仕上げの可能性も無限大。
建築デザインに
さらなる自由度を。



UPM-10

—— 露出仕上げ(多用途)



UPM-10 工法断面



長崎県庁舎 (設計: 日建設計、松林建築設計事務所、池田設計) 2017年 撮影(下): 雁光舎 野田東徳

竹中大工道具館新館(設計:竹中工務店)2014年 撮影:彰国社写真部



大阪駅北口広場(うめきた広場基本デザイン+デザイン監修:安藤忠雄建築研究所、設計:日建設計+大林組)2013年 撮影:新建築社写真部

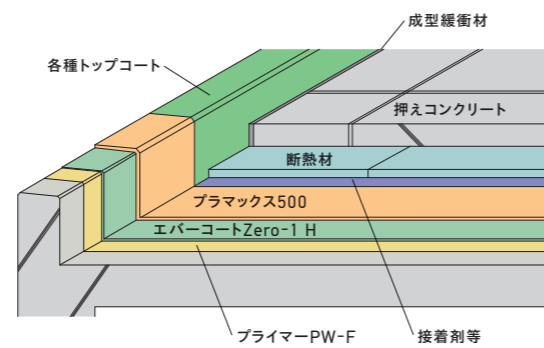
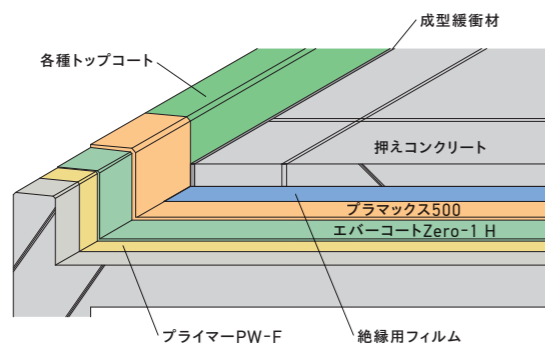


大手前大学さくら夙川キャンパスメディアライブラリー CELL(設計:日建設計)2007年 撮影:エスエス



UPM-100C

保護仕上げ(多用途)

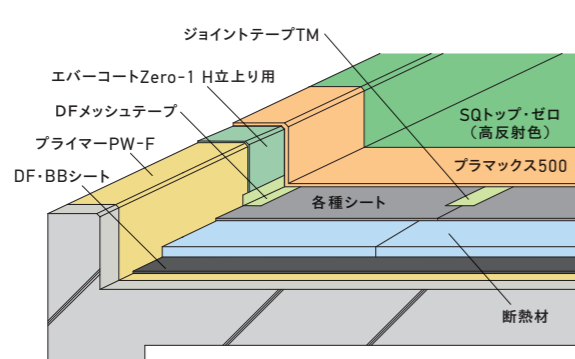


追手門学院大学 CAFETERIA (設計:三菱地所設計) 2019年 撮影:黒住建築写真事務所

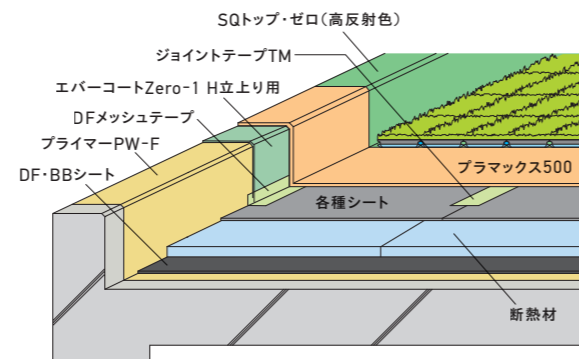


UPTF

露出仕上げ(外断熱)



UPTF-200 工法断面



UPTF-300 工法断面
(緑化システムの設置可 [別途工事])

1	2
3	4
5	

UPMシリーズで広がる さまざまな建築の可能性

- 1— 那須塩原まちなか交流センター くるる (設計: 藤原徹平+針谷将史+フジワラテツペイアーキテクトラボ) 2019年
- 2— トヨタカローラ新大阪名神炭木店 (設計: 竹中工務店) 2018年
- 3— アパホテル&リゾート 横浜ベイトワ (設計: 久米設計、新居千秋都市建築設計) 2019年
- 4— 追手門学院大学 BUS STATION (設計: 三菱地所設計) 2019年
- 5— HELLO KITTY SMILE (設計: 丹下都市建築設計) 2018年

〔撮影〕
1: 西川公朗、2: ナカサンドパートナーズ、3: エスエス、4: 黒住建築写真事務所



© 1976, 2021 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L617406

植栽

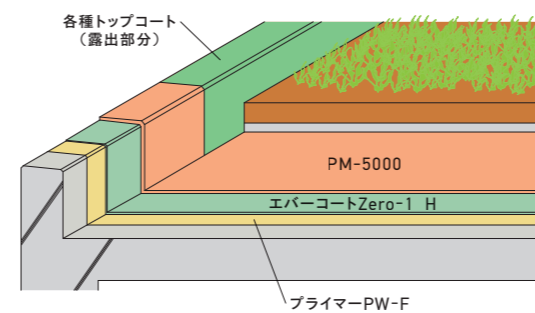
超速硬化 ポリウレア 複合防水 工法

いまや欠かすことのできない
自然と調和した
建築デザイン。
ハイグレード樹脂を用いた
緑化専用の防水層が
たくましい緑の生育を支える。
緑化と歩行といった
異なる用途も
共通の防水ディテールで実現。
緑化デザインを
さらなる次元へ。



V-U F

—— 緑化仕上げ



V-U F 工法断面



WITH HARA JUKU (設計: 竹中工務店+伊東豊雄建築設計事務所) 2020年 撮影(2点とも): ナカサアンドパートナーズ

公共施設



白岡市生涯学習センター
[こもれびの森]

設計：アール・アイ・エー
防水種別：UPM-10
竣工：2018年
写真提供：エスエス



尾道市庁舎

設計：日建設計
防水種別：UPM-10
竣工：2019年
写真提供：尾道市



魚沼市庁舎

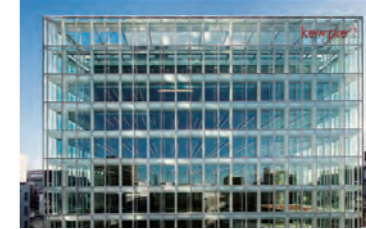
設計：石本建築事務所・千葉学建築計画事務所
防水種別：UPM-10
竣工：2020年
撮影：フォワードストローク

オフィスビル



大阪弁護士会館

設計：日建設計
防水種別：UPM-10 / V-UF
竣工：2006年
撮影：彰国社写真部



渋谷董友ビル
(キュービー本社ビル)

設計：三菱地所設計
防水種別：UPM-10 / V-UF
竣工：2015年
撮影：川澄・小林研二写真事務所



新ダイビル

設計：日建設計
防水種別：UPM-10
竣工：2015年
撮影：彰国社写真部

文教施設



大阪木材仲買会館

設計：竹中工務店
防水種別：UPM-10
竣工：2013年
撮影：彰国社写真部



豊中市立文化芸術センター

設計：日建設計
防水種別：UPM-10
竣工：2016年
撮影：東出清彦写真事務所



奈良文化財研究所

設計：日本設計
防水種別：UPM-10
竣工：2018年
撮影：稲住泰広

商業施設



りんくうプレミアム・アウトレット

設計：三菱地所設計
防水種別：UPM-10C
竣工：2012年
写真提供：三菱地所・サイモン



BOSS E-ZO FUKUOKA /
ボス イーズ フクオカ

設計：竹中工務店
防水種別：UPM-10
竣工：2020年
撮影：アイオイ・プロデュース



MIYASHITA PARK

設計：竹中工務店 + 日建設計(プロジェクトアーキテクト)
防水種別：UPM-10C
竣工：2020年
写真提供：三井不動産

学校施設



立川市立第一小学校

設計：小嶋一浩 + 赤松佳珠子 / CAT
防水種別：UPM-10 / V-UF
竣工：2014年
撮影：西川公朗



山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟

設計：伊東豊雄建築設計事務所 + 清水建設
防水種別：V-UF
竣工：2015年



愛知県立愛知総合工科高等学校

設計：久米設計
防水種別：UPM-10
竣工：2016年
撮影：林広明

スタジアム



Mazda Zoom-Zoom
スタジアム広島

設計：仙田満 + 環境デザイン研究所
防水種別：UPM-10
竣工：2009年
写真提供：広島東洋カープ



パナソニック
スタジアム吹田

設計：竹中工務店
防水種別：UPM-10
竣工：2015年



南長野運動公園
総合競技場

設計：東畑・北信・千広・アーキプラン
防水種別：UPM-10
竣工：2015年

医療・福祉施設



春日部市立医療センター

設計：昭和設計
防水種別：UPM-10 / V-UF
竣工：2016年
撮影：三輪晃久写真研究所



大阪重粒子線センター

設計：日建設計
防水種別：UPM-10 / UPM-10CF
竣工：2017年
撮影：写真通信



兵庫医科大学教育研究棟

設計：日本設計
防水種別：UPM-10
竣工：2017年
撮影：川澄・小林研二写真事務所

宿泊施設



芦屋ベイコート倶楽部
ホテル & スパリゾート

設計：日建設計
防水種別：UPM-10・10C・10CF / V-UF
竣工：2018年



ハイアットプレイス
東京ベイ

設計：石本建築事務所
防水種別：UPM-10 / V-UF
竣工：2019年
撮影：川澄・小林研二写真事務所



ホテルモンテ福岡

設計：鹿島建設
防水種別：UPM-10
竣工：2020年
撮影：エスエス

超速硬化ウレタン複合防水工法

UPM-10

露出仕上げ(多用途)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	エバーコート Zero-1 H	1.3kg
3	ブラマックス 500	2.0kg
4	各種トップコート	0.2kg

UPM-10C

保護仕上げ(多用途)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	エバーコート Zero-1 H	1.3kg
3	ブラマックス 500	2.0kg
4	絶縁用フィルム 押えコンクリート	別途工事

UPM-10CF

外断熱保護仕上げ(多用途)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	エバーコート Zero-1 H	1.3kg
3	ブラマックス 500	2.0kg
4	接着剤等	—
5	断熱材	※2
6	押えコンクリート	別途工事

UPTF-200

露出仕上げ(外断熱)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	DF・BBシート	1.0m
3	断熱材	※2
4	各種シート	1.0m
	ジョイントテープ TM	※3
	DFメッシュテープ	※3
5	ブラマックス 500	2.0kg
6	SQトップ・ゼロ(高反射色)	0.2kg

UPTF-300

露出仕上げ(外断熱)/緑化システムの設置可(別途工事)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	DF・BBシート	1.0m
3	断熱材	※2
4	各種シート	1.0m
	ジョイントテープ TM	※3
	DFメッシュテープ	※3
5	ブラマックス 500	3.0kg
6	SQトップ・ゼロ(高反射色)	0.2kg

[DF・BBシートの特長]

DF・BBシートは、ポリエステル不織布と粘着プチルから構成される断熱材張付け専用シートです。優れた粘着性があり、断熱材を確実に固定します。併せて、下地の温気が断熱材に含浸するのを防ぐ高い防湿効果を有しています。

UPM-10L(共通立上り)

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※1
2	エバーコート Zero-1 H 立上り用	0.7kg
3	ブラマックス 500	2.0kg
4	各種トップコート	0.2kg

※1 プライマーの吸い込み状況に応じて塗布量を増やします。

※2 断熱材の寸法(幅・長さ)によって使用枚数が異なります。

※3 防水施工範囲の形状により使用量が異なります。

植栽

超速硬化ポリウレタ複合防水工法

V-UF

緑化仕上げ

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※
2	エバーコート Zero-1 H	1.3kg
3	PM-5000	2.0kg

V-UF(立上り)

緑化仕上げ

工程	材料	使用量 (/㎡)
1	プライマー PW-F	0.15kg~※
2	エバーコート Zero-1 H 立上り用	0.7kg
3	PM-5000	2.0kg
4	各種トップコート (露出部分のみ)	0.2kg

※ プライマーの吸い込み状況に応じて塗布量を増やします。

設計・施工についての注意事項

[下地の基本要件]

下地の勾配：下地の勾配は1/100以上とすること。

下地の形状：入隅および立上りの入隅は通りよく直角とすること。
出隅および立上りの出隅は通りよく面取り(5mm以上、推奨値15~30mm程度)またはR面とすること。

下地の状態：下地の乾燥が十分であること。コンクリートの場合は表面が白く乾燥していること。
表面が平滑であること。仕上りに影響する凹凸や段差をなくすこと。

ドレン：防水層の塗りかけ代を確保できる製品を選定すること。
屋根部では塗りかけ幅を100mm以上確保すること。

[施工上の周知事項]

- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。
- 超速硬化ウレタン・ポリウレタの吹付け施工前には、必ず飛散・養生対策を施してください。
- ポリマーセメント系下地調整塗材を使用する場合は、耐溶剤性を有する製品を選定してください。(適用下地：防水材、塗床)
- 本防水システムのひび割れ抵抗性は疲労試験(JASS 8 T-501-2014)にて評価しております。2mmを超えるムーブメントが生じる部位への適用については、事前にお問い合わせください。
- 防水施工範囲により仕様が異なっても(UPM-10とV-UFなど)一体化した仕上りとなります。

[備考]

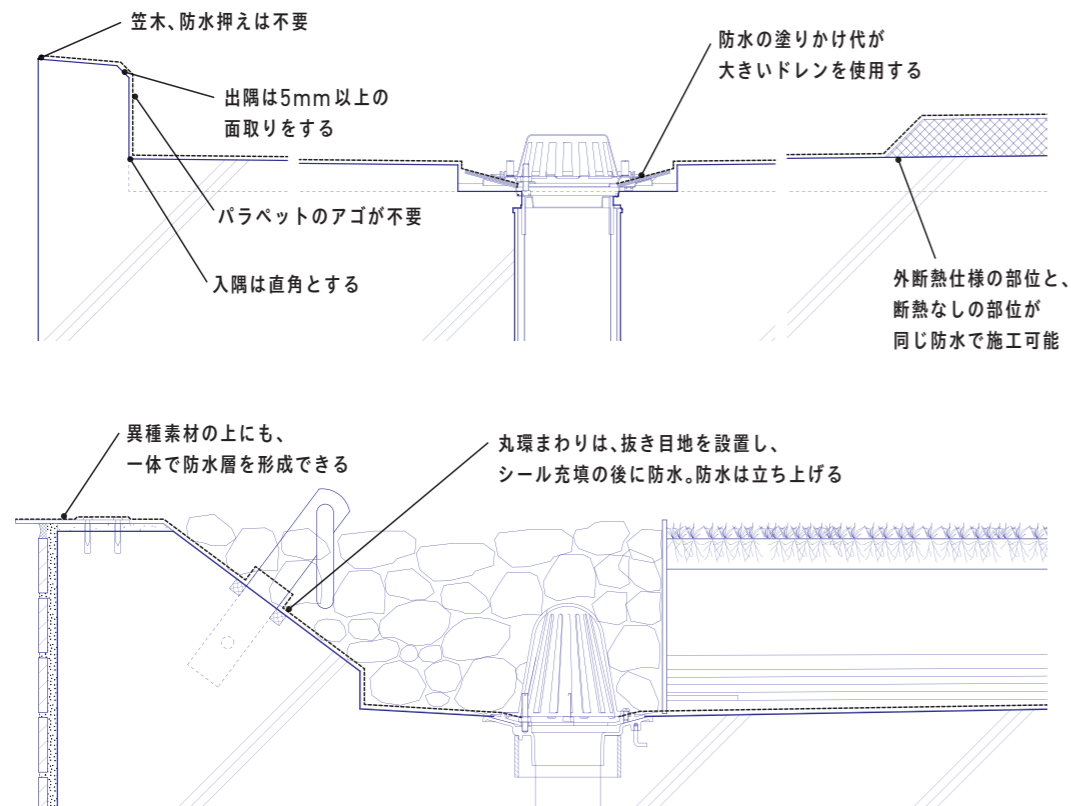
- UPTFの仕上り特性として、断熱板ジョイント周辺部が部分的に隆起しますが、防水性能への影響はありません。
- その他の事項についてはクイックスプレーの総合カタログを参照してください。

V-UF(緑化部)

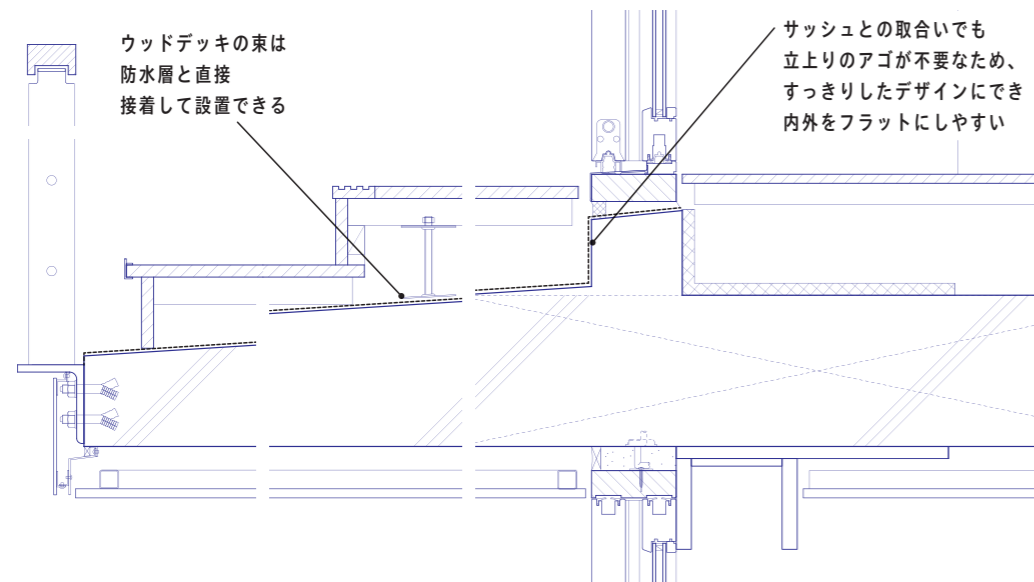
UPM-10(ウッドデッキ部)

異なる仕様でも
防水システムは一体化

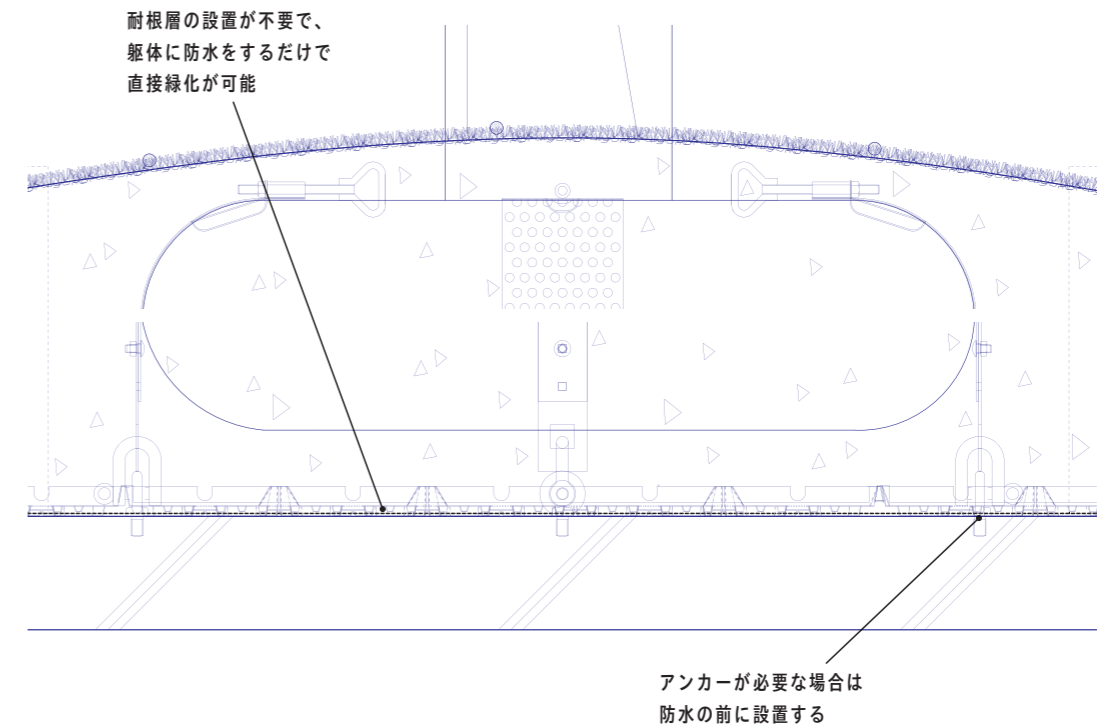
パラペット，屋根



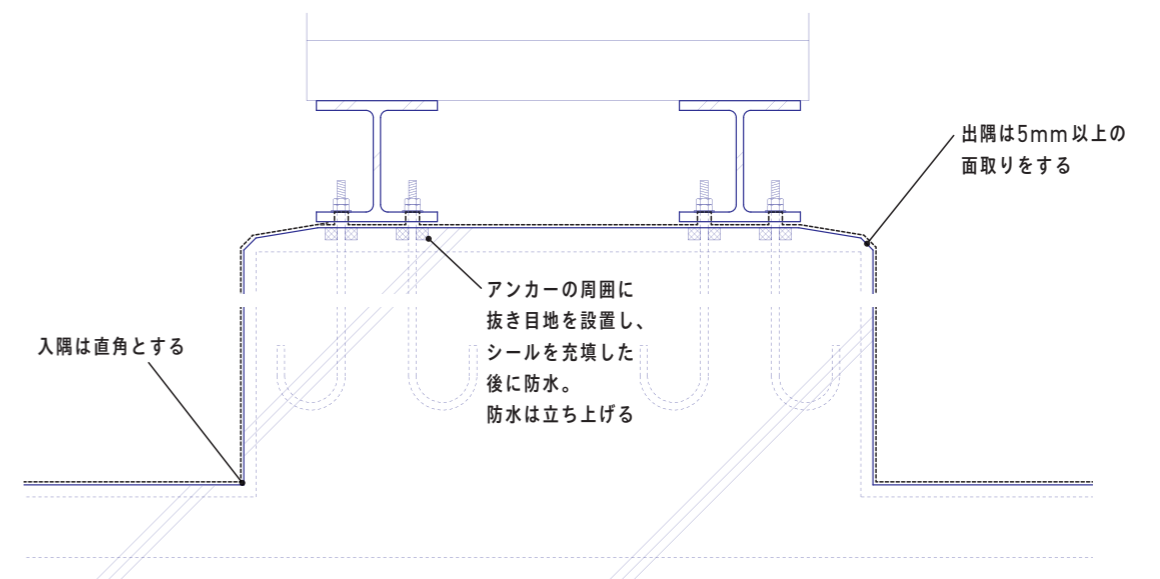
バルコニー，ウッドデッキ



屋上緑化



屋上基礎

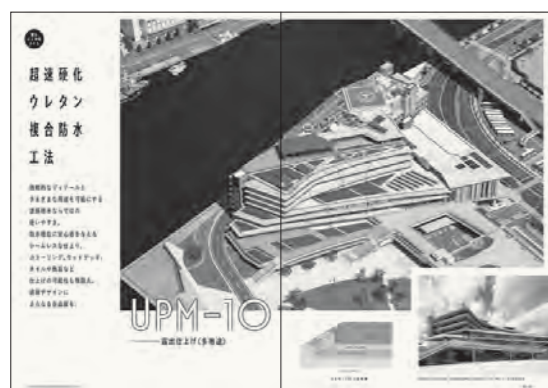




P02-03

WATERPROOFING IS EVOLVING.

Good design and functionality.
 Until recently it was thought difficult to achieve both with waterproofing materials.
 Thin, flake-resistant and scratch resistant.
 The multi-component ultra-fast curing polyurethane waterproofing membrane system series takes architecture to the next stage.
 Waterproofing is not a limitation, waterproofing sets you free.
 Let's create the next generation of architecture!



P04-05

[ROOFTOPS, ARTIFICIAL GROUND AND TERRACES]

MULTI-COMPONENT ULTRA FAST CURING POLYURETHANE WATERPROOFING MEMBRANE SYSTEM

The ease of use that comes from spreadable membrane waterproofing is perfect for challenging detail work and makes all kinds of thing possible. Coloring, wooden decks, tiles and paving stones—the possibilities for finishes are endless. Adding a sense of freedom to architectural design.

UPM-10—Exposed finish (multipurpose)

Photo: Nagasaki Prefecture Office
 (Design: Nikken Sekkei Ltd, Matsubayashi Architectural Design Office, Ikeda Architects)



P06-07

UPM-10C—Protective finish (multipurpose)

Photo: Takenaka Carpentry Tools Museum
 (Design: Takenaka Corporation)

Photo: Umekita Plaza
 (Basic Design and Design Supervision: Tadao Ando Architect & Associates, Basic Design: Nikken Sekkei Ltd)

Photo: Otemae University Sakura Shukugawa Campus Media Library CELL
 (design: Nikken Sekkei Ltd)



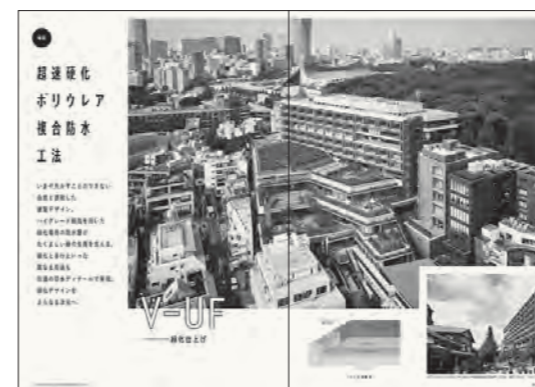
P08-09

UPTF—Exposed finish (external heat-insulating)

Photo: Otemon Gakuin University Ibaraki Sojiji Campus THE CAFETERIA
 (Design: Mitsubishi Jisho Sekkei)

Expanding the possibilities of Architecture with the UPM SERIES

- 1—Nasushiobara Community Center KURURU
- 2—Toyota Corolla Shinosaka Meishin Ibaraki
- 3—Apa Hotel & Resort Yokohama Bay Tower
- 4—Otemon Gakuin University THE BUS STATION
- 5—HELLO KITTY SMILE



P10-11

[PLANTING]

MULTI-COMPONENT ULTRA FAST CURING POLYURETHANE WATERPROOFING MEMBRANE SYSTEM

Now more than ever architectural design cannot ignore the harmony with nature. Our special greening waterproof layer with high-grade resin supports the growth of various robust greenery. While greening and sidewalks are vastly different use cases, you can realize the same waterproofing detail. Take greening design to the next level.

V-UF—Greening finish

Photo: WITH HARAJUKU
 (Design: Takenaka Corporation + Toyo Ito & Associates, Architects)



P12-13

[ACHIEVEMENTS]

- Public facilities
- Educational facilities
- Schools
- Medical and welfare facilities
- Office buildings
- Commercial facilities
- Stadiums
- Accommodation facilities

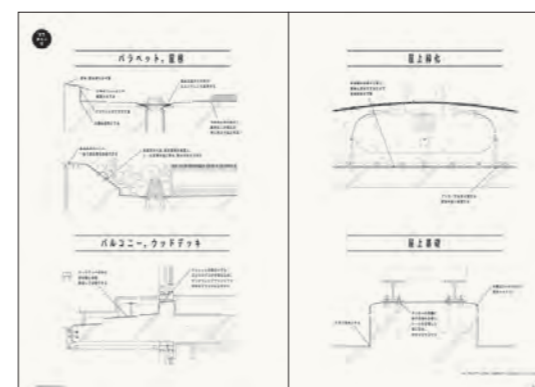


P14-15

[POINTS TO NOTE]

BASIC REQUIREMENTS FOR FOUNDATION WATERPROOFING

- Foundation slope: Slope of at least 1/100.
- Foundation shape: Internal corner and rise internal corner should be even and right angles. External corner and rise external corner should be even and chamfered (at least 5 mm, around 15 – 30 mm recommended), or R-faced.
- Foundation state: Foundation should be thoroughly dry. Concrete should be dried white. Surface should be smooth. Unevenness and height differences that may affect the finish should be removed.
- Drain: Choose a drain that can ensure a spreading allowance for the waterproofing layer. For roofs, ensure a coating width of at least 100 mm.



P16-17

[REFERENCE DETAILS]

- Parapets and roofs: Coping and flashing are not necessary. Parapet corbels are not necessary. External heat-insulating part and uninsulated part can be coated with the same waterproofing method.
- Balconies and wooden decks: Wooden deck posts can be installed directly with adhesion to the waterproofing layer.
- Rooftop greening: Installation of waterproof layer is unnecessary, just waterproofing the frame is sufficient for direct greening.
- Rooftop foundation: Establish extraction joints around the anchors, waterproof after filling the seals. Waterproofing should be raised.